

令和4年度 美術《第2学年》年間指導計画

担当（ 鈴木 朝子 ）

美術科 教科の目標
表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにして、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

美術科 第2学年の目標
（１） ・楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。
（２） 対象を見つけ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を伸ばす。
（３） 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に関する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

※【知】は「知識及び技能」は、【思】は「思考力、判断力、表現力など」、【態】は「美術への関心、学びに向かう力、人間性等」

月	単元名	学習内容	評価規準		評価資料
4 5	絵画 「鉛筆デッサン」 絵を描く基礎を学ぶ (3時間)	・形や影の特徴をとらえてスケッチする。 ・自分自身の手を見ながら、手の中にできる影、外にできる影、立体感などを書き表していく。 ・デッサンへの関心を持ち、自分なりの見方や感じ方を大切にしながらデッサンを楽しむ。	【知】	・材料や用具の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。 ・形や彩色などの特徴や印象などから全体を感じ、本質的なよさや美しさ、目的のものの意図や創造的な工夫や機能などを感じ取り、見方を広げている。	ABCDE
			【思】	・形や影の特徴をとらえて自分なりのイメージでスケッチする。	ABCDE
			【態】	・デッサンに関心を持ち、自分なりの見方や感じ方を大切にしながらデッサンを楽しむ。	ABCDE
6 7	絵画 透視図法を使った平面構成 (15時間)	・空間表現を遠近法を自由に選択し、表現することができる。 ・遠近法と、線織面を駆使し、平面に空間を表現することができることを理解する。	【知】	・絵の具の使い方、表現の方法を理解し創造的に表現することができる。 ・他者に作品を見せる上でのレイアウトを工夫し、展示することを味わう。	ABCDE
			【思】	・線織面を学び、遠近法と組み合わせで自分のイメージに合う表現を構想することができる。	ABCDE
			【態】	・遠近法を学ぶことで絵画表現に関心を持って取り組むことができる。 ・自分のこだわりを持って作業に意欲的に取り組むができる。	ABCDE
8	絵画 「世界的絵画に学ぶ」 絵画の模写をすることによりプロの世界に触れる (自宅学習課題) (感染対策によりテーマの変更の可能性あり)	・身近にある日本というものを改めて考え、自分との関わりや関係性を認識し、自分が思う「日本」の図のイメージを膨らませ、形や色、材料を工夫して表す。 ・細部までしっかり色塗りや、線引きができている。 ・イメージに適した表現方法を選び、形や色彩、材料を工夫して表す。	【知】	・表現方法を工夫し制作の重所などを総合的に考えながら見通しを持って表現している。 ・その土地や歴史に根付き生まれてきた特徴や相違点、共通性を理解し、国際理解を深めることができる。	ABE
			【思】	・目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え、美しさなどを考え、自分らしい表現の構想を練っている。	ABE
			【態】	・資料などから得た情報を積極的に鑑賞し、意欲をもって理解を深めようとすることができる。	ABE
9 10 11 12	木工芸 「レリーフ」 自分をテーマにした木彫を作る (15時間)	・工具の使用の注意事項を把握して作業を行う。 ・糸ノコギリの使用法、彫刻刀使用。 ・生活の中のデザインや伝統的な工芸を鑑賞し、豊かな発想と工夫、美と機能性の調和、作品に託された願いと造形的なよさなどに気づき、生活におけるデザインや工芸の働きについて理解すること ・規制の中にいかに自由な発想をを表現できるのかの検討ができる ・木工の良さを味わって、粘り強く自分の表現を追究することで良い作品が生まれることを実感を持って体験させる ・日本の伝統工芸の状況を理解することにより、あらためて日本の風土のあった工芸について理解を深める。	【知】	・作業に使用する工具の特性、注意事項をしっかりと把握している。 ・美しい仕上がりを目指して工夫している。 ・テーマから感じられる作品の面白さがしっかりと反映されている。	ABCDE
			【思】	・木材を裁断することを踏まえ、デザインのイメージがから作品になる行程を考えて構想することができる。	ABCDE
			【態】	・素材のよさや美しさを味わうことができ、制作への関心や意欲を高めようとしている。 ・説明をよく聞き、創意工夫し、自分のオリジナルを生み出す。 ・他者の作品を鑑賞し、制作の意図や心情をつかみ、生活と美術との関わりについて考えることができる。	ABCDE

2 3	絵画・鑑賞 「模写」「絵画の歴史」 (2時間)	・絵画(プロの作品)の中から模写をする作品を選び、画面構成や配色をよく観察し、どうすれば原画に忠実に模写できるか考える。	【知】	・明度と色を工夫して自分を表現する。 ・美しいグラデーションと表情の表現を工夫し創造することができる。 ・生活の中に美術が様々に用いられており、日本の美と風土にあった機能性にあらためて気づき、日本の伝統工芸の現状について理解することができる。	ABCD
			【思】	・自分の作業工程を予想し、どこまでできるか工夫して作業を行う。 ・模写をする作品を選び、画面構成や配色を細かく調べ、原画に忠実に模写しようとする。	ABCD
			【態】	・生活の中の造形に親しみ、日本文化の継承と創造、心豊かに生きることと美術とのかかわりなどに関心をもって鑑賞する喜びを味わうことができる。	ABCD